



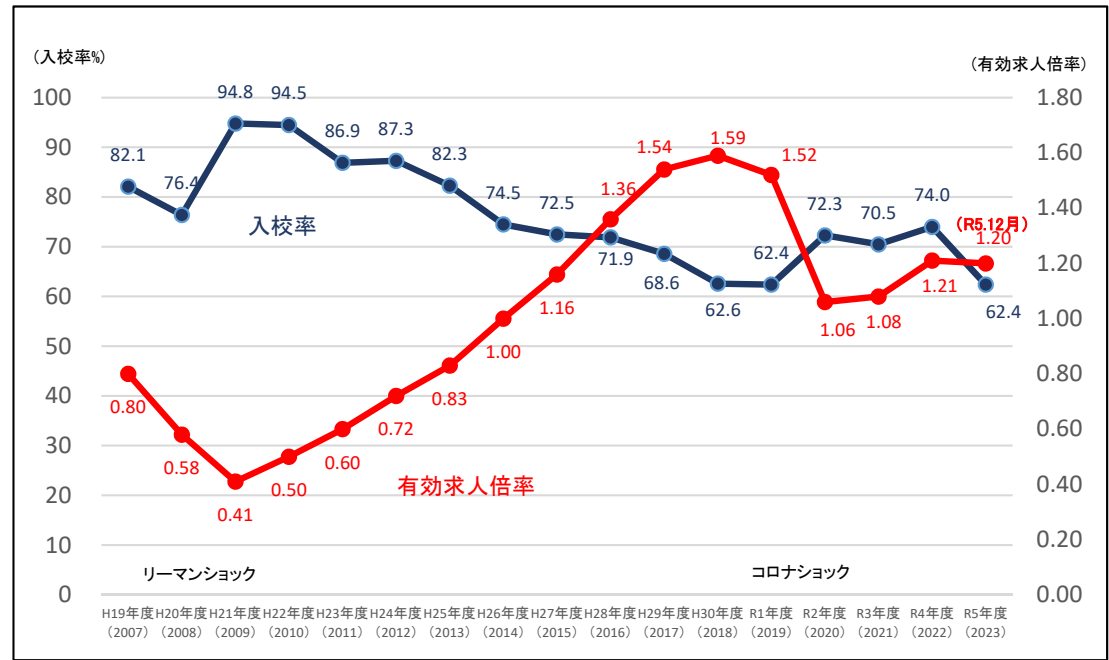
1.現状と課題

- 技専校における令和5年度の入校率（入校者数／定員）は、62.4%となっており定員を大きく下回っている状況。（図表1）
- 入校率向上のためオープンキャンパスの実施やSNSによる情報発信を行っているが、求職者の入校は雇用情勢の影響を大きく受ける。（図表2）
- 技専校の稼働率向上（県有施設の有効活用）にむけて求職者訓練だけではなくあらゆる視点からの活用方法等の検討が必要。

図表1 令和5年度 校別入校状況

	定員(人)	入校者(人)	入校率
福岡校	210	155	73.8%
戸畑校	90	47	52.2%
小倉校	90	57	63.3%
久留米校	100	60	60.0%
大牟田校	90	47	52.2%
田川校	130	71	54.6%
小竹校	130	87	66.9%
計	840	524	62.4%

図表2 技専校入校率の推移



2. ご議論いただきたい内容

- 技専校の認知度向上や県有施設としての稼働率向上のためにはどのような視点や工夫が必要でしょうか。

現行の制度や規制にとらわれずアイデアやヒントなど様々な視点からご意見をお願いします。

- 例)
- 認知度向上のため技専校に親しみやすい『愛称』を付ける（『技専校（ぎせんこう）』ではカタすぎる！？）
  - 在職者でも受講できるように休日や夜間コースの訓練を設定
  - 地元企業に社員研修用として機器や施設を開放（土日など）
  - 木工家具や住宅リフォームのDIY講座やメタバースのアバター制作講座など趣味的な講座にも開放し、地域の学びの広場とする
  - 外国人技能労働者に特化した訓練を実施
  - 技能五輪全国大会入賞を目指す『技能オリンピックアカデミー』を開設